

第16回リウマチ膠原病診療連携の会 開催報告

2月20日(金)20時から当院5階会議室の現地参加とWEB(Zoom)参加によるハイブリッドで開催しました。3名の現地参加の先生方とWEBで参加の先生方、看護師さん方にご参加いただきました。今回のテーマである“脊椎関節炎”の注目度が高かった為か、いつもより多くの方々にご参加いただきありがとうございました。

今回の薬剤情報は、アツヴィ合同会社の葉山さんからリンヴォック®(ウパダシチニブ)についての情報をいただきました。

その後の話題提供では、『関節リウマチの周辺疾患③(脊椎関節炎)』を取り上げました。

*脊椎関節炎の内容だけでかなりボリュームが大きくなったため、今回予定していた線維筋痛症については、次回以降とさせていただきます。申し訳ありません。

脊椎関節炎の歴史：脊椎関節炎の概念の確立に至る歴史的経緯を紹介

用語と分類の整理：脊椎関節炎の含まれる各疾患(強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、反応性関節炎、IBD関連関節症)と体軸性脊椎関節炎(axSpA)・末梢性脊椎関節炎(pSpA)のASAS分類の関係、r-axSpAと強直性脊椎炎ASの関係、について説明

◎脊椎関節炎診断の為に一体軸性脊椎炎の診断

- ・炎症性腰部痛の原因、感度・特異度について
- ・使用できる分類基準：改訂NewYork基準⇒強直性脊椎炎AS、ASAS分類基準の体軸性脊椎炎⇒体軸性脊椎炎全体
- ・ASAS分類基準：体軸性脊椎炎には2つのアームがある(画像アーム、HLA-B27アーム)
- ・強直性脊椎炎ASという疾患単位は必要なのか？
- ・ASAS分類：体軸性脊椎炎における脊椎炎の定義の位置づけ

◎脊椎関節炎診断の為に一末梢性脊椎炎の診断

- ・ASAS分類の入り口としての関節炎、付着部炎、指趾炎
- ・脊椎関節炎でも関節滑膜炎は起こる
- ・付着部炎診断にはどの部位をみるか(触診、検査データは当てにならない)
- ・指趾炎はこんな感じ(付着部炎、腱鞘滑膜炎、皮下浮腫の集合的所見)

◎脊椎関節炎診断の為に一関節外病変

- ・皮膚病変：乾癬
- ・爪乾癬について(その成因と種類)
- ・眼病変：ぶどう膜炎
- ・IBDに関連する関節症状とその特徴
- ・先行感染：反応性関節炎について

★分類基準は診断基準として用いてはいけない!

★脊椎関節炎の臓器障害を包括的に理解し診療科の領域を超えて広く評価する姿勢が重要

★痛みを訴える患者さんの血液検査で炎症反応陰性の場合こと見落としているかもしれません

後半の症例検討では、「血液透析中の Seronegative RA の症例」の治療方針についてディスカッションしました。

次回の連携の会は、第 17 回リウマチ膠原病連携の会として 2026 年 3 月 13 日（金）20 時から開催予定です。話題提供として、線維筋痛症についての最新の情報も含めて紹介します。症例検討としては、関節リウマチ治療の phase2 以降の薬剤（生物学的製剤、JAK 阻害薬）の一次無効、二次無効の症例に対する対応についてディスカッションしたいと考えています。対応法は多数あるのでいろんな意見をいただけたらと思います。